

『ヤングケアラー』を考える フォーラム



～さあ、理解と支援を一步前へ～

家族の家事や介護、感情面のサポートなど、大人が行うケアを担っている子どもである「ヤングケアラー」。ヤングケアラーである子どもたちが、夢と希望をもって大切な子ども時代を暮らしていけるために私たち一人ひとりに、何が求められているのでしょうか？
子どもたちの笑顔を守るために、今そしてこれから私たちにできることをみんなで一緒に考えてみませんか。

10:00～ 講演
「ヤングケアラーの理解と必要な支援」
講師 濱島淑恵さん(大阪公立大学教授)



2016年にヤングケアラーの存在に気づき、日本では初となる実態調査を大阪府の高校で実施。2020年度、2021年度に実施された厚生労働省によるヤングケアラーに関する全国調査に研究班として関わった。

2020年にはヤングケアラーたちの集い「ふうせんの会」を有志とともに立ち上げ、現在も活動中。現在、神戸市こども・若者ケアラー支援アドバイザー、大阪市ヤングケアラーPTアドバイザー等を務めている。

〈主な著書〉

『子ども介護者 ヤングケアラーの現実と社会の壁』(角川書店)『家族介護者の生活保障 実態分析と政策的アプローチ』(旬報社)

11:20～ 当事者体験談
酒井清旭さん
(やさしい手倉田居宅介護支援事業所管理者)



“ヤングケアラー”という言葉に出会った時、衝撃が走った。「これは昔の私だ」—青年期、ひとり親の母が病床に伏し、一人で介護した。

家の中には、いつも母と2人。当時は、気づかなかったが、当時の自分は、ケアが必要な“ヤングケアラー”だったことに気づいた。それから、ヤングケアラーの支援をしたいと思い、ヤングケアラーの支援をしている「NPO 法人ふうせんの会」に所属し活動を行っている。自身の経験を描いた漫画『お母さんのおむつを替えた日』を出版。

令和6(2024)年 **11月9(土)**
9:50～12:00(9:30 開場)

会場：美作大学 100周年記念館 5階
参加費：無料

【参加方法】

こちらQRを読み取り、申し込みをしてください。難しい方は直接ご連絡ください。

※切 11月5日(火)

当日受付も可能です！



○主催：美作大学
○共催：NPO 法人おかやま地域福祉研究所 COM
○後援：津山市
○問い合わせ：美作大学 小坂田
☎090-4657-6307 E-mail: mosakada@mimasaka.ac.jp